

## 国際金融年表

(円ドル為替レート)

1816	イギリス 鑄貨条例 (金1オンス・28.35g=3.17ポンド)
1897	貨幣法 (金0.75g=1円)
1914	第一次世界大戦 (~18)
1927	金融恐慌 (銀行の大量倒産/好況の反転と関東大震災による)
1929	アメリカ 世界大恐慌 (ニューヨーク証券取引所暴落/~32)
1930	国際決済銀行・BIS設立 (バーゼルクラブ・賠償金の処理/1970年に再加盟)
1933	アメリカ ニューディール政策 (総需要管理政策の始まり)
1939	第二次世界大戦 (~45)
1944.7	連合国通貨金融会議 (ブレトン・ウッズ協定・金ドル本位制度)
1946	IMF設立 (金1オンス=35ドル・新国際金融秩序の始まり) :(\$1=¥360)
1952	IMF加盟
1965	ベトナム戦争・介入拡大(~73)
1967	IMF協定・第1次改訂 (SDRの創設)
1971	ドイツ マルクの高騰と変動相場制への移行
1971.8	アメリカ ニクソン・ショック (金ドル交換停止・輸入課徴金など)
1971.12	スミソニアン協定 (固定相場への復帰・ドルの金兌換停止) :(\$1=¥308)
1972	イギリス スネーク制度から変動為替制度へ移行
1973	変動為替相場制へ移行 (スミソニアン協定の終了)
1974	ドイツ ヘルシュタット銀行の経営破綻 (ドミノリスクの始まり)
1975	ランブイエ 第1回先進国首脳会議 (サミット)
1978.11	アメリカ カーター・ショック (協調介入の要求・介入資金の調達)
1978.	IMF協定・第2次改訂・キングストン合意 (変動為替相場制の正式移行)
1980	外国為替管理法の改定 (内外取引の原則禁止から自由化・円の国際化)
1984	日米円ドル委員会報告と規制緩和 (ユーロ円市場拡充・為替取引の自由化)
1985	<b>G5・プラザ合意</b> (ドル高是正の協調介入・ <b>バブル経済の始まり</b> ) :(\$1=¥230)
1985	アメリカ 財政収支均衡法とGRH法制定 :(\$1=¥200)
1986	金利の引き下げ (5.00%から4.5, 4, 3.5, 3.00%と引き下げ)
1987.2	金利の再引き下げ (2.50%・戦後最低)
1987.2	G7・ルーブル合意 (ドル安是正のための協調介入) :(\$1=¥150)
1988	<b>BIS規制</b> (自己資本比率規制国際統一基準・1993まで実施義務) 金融機関経営の健全性確保のための「早期是正措置」実施開始
1989	<b>金利引き上げ</b>
1990	<b>金利再引き上げ</b> (6.00%まで)
1991	バブル経済の崩壊 (金融資産インフレと好況の終了・ <b>バブル経済の終わり</b> )
1991.12	ロシア政府の誕生 (1ドル=5~6ルーブルの目標相場制採用)
1993	BIS第二次規制案 (バリュー・アット・リスクの採用)
1993	欧州連合・EUの開始 (通貨統合の始まり・1999年~2002年に完了)
1996	金融ビッグバン・日銀法・現金預金法等改正 (2001年3月まで預金全額保護)
1997	アジア通貨危機 (タイ通貨パーツの急落)
1998	金融機能の再生・早期健全化のための緊急措置に関する法律
1998.4	公定歩合-商業手形・0.50(その他・0.75) (1995/4/14 1.00/1.25)
1998.8	ロシア通貨危機 (ルーブルの切り下げ)
1999.2	日本銀行 <b>ゼロ金利政策</b> (2000年8月まで, 2001年2月より実質ゼロ)
2001	日本銀行・金融市場調節方式が金利から <b>当座預金残高ターゲット</b> へ
2001	公定歩合・1月4日(0.50), 2月13日(0.35), 3月1日(0.25), 9月19日(0.10)
2002	新BIS規制 (Base II・格付け信用リスク計測の採用・2006年末実施)
2006	日本銀行・金融政策の預金残高維持政策の停止, <b>金利ターゲットへの転換</b>
2006	7月4日 基準割引率および基準貸付利率 0.40
2007	2月21日 基準割引率および基準貸付利率 0.75

\*\* 基準割引率および基準貸付利率 (公定歩合) の推移 \*\*

1987/2/23 2.50%, 1989/5/31 3.25%, 10/11 3.75%, 12/25 4.25%

1991/7/1 5.50%, 11/14 5.00%, 12/30 4.50%, 1992/4/1 3.75%, 7/27 3.25%

1993/2/4 2.50%, 9/21 1.75%, 1995/4/14 1.00%, 9/8 0.50%

2001/1/4 0.50%, 2/13 0.35%, 3/1 0.25%, 9/19 0.10%

2006/7/14 0.40%, 2007/2/21 0.75%